

平成 27 年度技術研修会

□復興支援事業研修会

平成 28 年 3 月 5 日 (土) 6 名参加で、女川地区を中心とした研修会を行った。

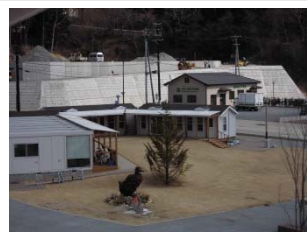
・宮城県庁～女川町～石巻～野蒜～東名～仙台駅

□女川町中心部

復興計画に携わった岩渕氏の案内で、女川駅前からプロムナードの視察をおこなった。



・女川・ゆぼぼ
駅に温泉施設併設



・女川フューチャーセンター「カマス」
創業支援、町民交流施設



・プロムナード
3%勾配で岩壁まで



・シーパルピア女川
テナント型商業施設

□復興状況



・女川町地区医療センター
外壁の色が変わっている
1 階部分まで浸水した



・高台移転地
工事が進む高台造成地

□災害状況



・津波で倒れた交番



・野球場の中に建てられた
仮設住宅

□仮設住宅



・建築家 伴氏提案のコテナハウス



・仮設の広場柱にコテナ利用
(会員の太陽工業製品か)

□石巻～奥松島



・日和大橋から日和山、門脇小
学校を望む
ほとんど工事は進んでいない



・北上運河
ここはカマツが残っている

□高台移転地



・仙石線東名駅
ほとんど乗降客無し



・東名駅前高台移転地
ほぼ工事が終わっているが
何人が移転して来るのか、
海は見えない

□復興のトップランナーと言われている女川町中心部の復興進捗状況です。

10 割までいかなくても 6~7 割の人々が納得する発想力、地域の声を聞きながらもプロとしての決断力、行政なり既存組織を引き込む。説得力、そして様々な批判に耐える忍耐力、これらの力の上に災害復興は成り立つのではないかと実感した。

